



2019年7月12日に第2回看護研究研修を開催し28名が参加しました。この研修は、看護研究のテーマに悩んでいる方や、看護研究をどのように進めてよいのかわからない方に対し“看護研究の導入”に焦点をあてた5回のシリーズ研修となっており、今回は、看護研究を進めるための第一歩、“リサーチクエスチョン(研究課題)”について学びました。

よりよい看護実践のために
看護研究は必要

臨床は研究の種
の宝庫

まずは、
疑問・思い・願い



講師紹介
永江誠治先生
長崎大学生命医科学域
看護実践学分野

1 看護学と看護研究(…なぜ研究をするのか)

2 リサーチクエスチョンの立て方

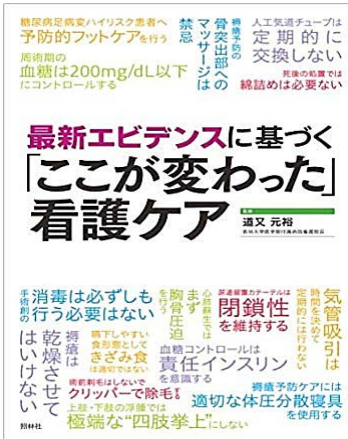
よりよい看護のためのエビデンス

看護学は実践のための学問です。学会発表や論文執筆のためではなく、看護実践の質的向上を図るために研究がなされなければなりません。看護・医療の常識は日々変わっていくものです。

臨床には発見されていない研究課題や、臨床現場でしか思いつかないような疑問が多くあります。普段働いている中で頭に浮かぶ疑問を大切に、なぜ○○なのか、どうすれば…とリサーチクエスチョンに繋げていきましょう！

よりよい看護実践のために 看護研究は必要

- これまでに明らかにされている研究結果を臨床現場で生かすことが必要
- 新たな研究課題を臨床現場から拾い上げていくことが必要
- 既知の研究結果をよりエビデンスレベルの高いものへと発展させていくことが必要
- よりよい看護実践を探求し続けていくことが必要



日々の業務の中で抱えている疑問について、意見を出し合いました。

3 文献検討(GOLDENRULE)

メッセージ

文献検討の目的と方法

文献検討のGOLDEN RULE

- 1) これまでの研究で分かっていること
- 2) これまでの研究で分かっていないこと
- 3) この研究で新たに明らかにすること
(それを明らかにすることの意義)
- 4) それを明らかにするための研究方法...

まずは、看護研究に興味・関心を持つことから始まります。テーマありきではなく、日々の気づき(疑問・思い・願い)を大切に、研究に取り組んで欲しいと思います！

業務改善も、テーマ設定、研究デザインに時間をかけ、明らかにしたい「研究課題」をはっきりさせて取り組むことで研究になります。

臨床にいる皆さんだからできる研究があるはず。できることから一歩ずつはじめましょう♪

研究の種を大切にしよう♪

